



竹井 よこ 通信

第7号 (2016年2月発行)

竹井ようこ事務所
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: http://takeiyoko.com/

発行者 小平市議会議員 竹井ようこ 会派 フォーラム小平

無所属

市議会議員となって9か月。
議会、委員会のほか、市民の皆様からご相談をいただく案件も増え、
精力的に活動しております。

2016年もより住みやすいまちづくり向け、努力してまいります！

◆ 12月定例議会報告 ◆

一般質問において、以下4点を質問しました。

1. 保育園における保育の質の向上と建設時の対応について

【質問】

待機児童の解消は喫緊の課題である。保育園増設はとても有益な事業だが、その急増を理由に保育の質を低下させてはならない。

また、保育園の新設にあたっては、円滑な保育事業が展開できるよう、地域と連携した説明会等の開催が重要だ。

【回答】

質の維持・向上のため、保育士に対する研修と併せ、ハード面や職員体制等が市の定める基準を満たしているかの検査を行なっている。また新設時には、事業者が個別訪問や説明会を通じ、工事や事業に対し住民の理解が得られるよう努めている。

2. 学校管理下における重大事故の対応について

【質問】

体育祭の組体操で重軽傷を負う事故が頻発し問題となっている。授業、部活動、行事等で重大事故を発生さない取り組み、万一発生した場合の対応はどのようになっているのか。

【回答】

児童・生徒の危機回避能力を高めるため、毎月安全指導を行うなど、教職員が事故を想定した取り組みを行っている。万一事故が起きた場合は、ケガへの応急措置を最優先し、速やかに保護者への連絡を行う。その後、情報収集と子どもの心のケア、保護者への説明、原因の究明など再発防止に向けた対策を学校とともに進める。



小平市議会Webで
3月定例会一般質問の動画配信中

<http://www.discussvision.net/kodairasi/2.html>

働く男女のワークライフバランスを応援する立場からも、保育の場が増えることは大変喜ばしいことです。一方で、保育園新設予定地の近隣では「保育園の必要性は理解しつつも、騒音や交通渋滞などを懸念する」との声もあります。子どもたちを安心して送り出していくためにも、事業者だけではなく、市が地域の住民の皆さんと良好な関係を築き、保育事業の運営方針をきちんと説明することが必要です。引き続き要望していきます。

CHECK POINT/

保育園を新設することが新たな需要の喚起につながり、直ちに待機児童解消には至りませんが、平成29年度末までに待機児童を解消するというのは国の指針でもあり、市もこれに向けて事業を展開しています。

✓新設状況(平成27年度)：3園 ※28年度4園新設予定
✓待機児童数(平成27年度)：178名 ※前年比11名増
✓私立認可保育園数：26園 (28年度中開設4園を含む)

市内在住の方ではありませんが、学校管理下の事故により、子どもがケガや死亡した保護者の方々とお話をする機会がありました。その際、万一事故が起きた場合に大切なことは、「初期動作」「隠蔽防止のシステム」、そして「再発防止」だと異口同音に訴えておられました。

市からの回答には、これらのポイントが盛り込まれており安心しましたが、引き続き、事故を起こさない取り組みについて注視していきます。

CHECK POINT/

質問から2か月後、国会でも組体操について取り上げられた結果、文科省は各地の教育委員会等に安全確保策を求めました。

✓中学生男子ピラミッド10段(計151人)の負荷：

1人に4人分(200kg)の負荷がかかる場合もある。

(名古屋大学 内田准教授)

3. 頑張っている人を市を挙げて応援しよう

「ボランティア等で日々黙々と善行を続けている人」を称えるとともに、「部活動や個人の活動等で努力を積み重ね、目覚ましい成果を挙げた人」を応援するという観点から、以下3点を要望しました。

① 日々善行を続けている人には、学校等から感謝状を贈る取り組みとは別に、市として善行を紹介し、感謝の意を表す。

② 部活動や個人の活動で、全国レベルの成果を挙げたような場合に、公共施設の懸垂幕等で称賛する。

③ 東京オリンピック・パラリンピックに出場した小平ゆかりのアスリートを紹介するコーナーを市庁舎や市民総合体育館等に設ける。

CHECK POINT

以下は昨年度中学部活動の全国大会での受賞例ですが、これまでも市内の小中学生が書道、箏曲、サッカー、手作り紙芝居コンクール、ロボットコンクール等の大会で数多くの賞を受賞しています。

- ✓ 三中吹奏楽部金賞 ✓ 六中吹奏楽部銀賞
- ✓ 四中水泳部優勝(400mフリーリレー)
- ✓ 二中テニス部ダブルス準優勝、団体3位
- ✓ 二中バドミントン部団体戦3位

4. 姉妹都市交流への市民参加促進について

北海道の小平町（おびらちょう）との姉妹都市交流は38年間続いています。これまで以上に、姉妹都市をPRし、市民間でも訪問交流が促進されるような取り組みを要望しました。

今年には北海道小平町が町制施行50周年にあたることもあり、チラシやパネルによる姉妹都市交流のPRや物産販売のための予算が盛り込まれました！

活動記

12月、1月の主な活動(順不同)

【子育てナンバーワンのまちへ】

特別支援学級合同作品展、七小どんと焼き、小平よさこいダンスフェスティバル、上宿小まつり【ワークライフバランスが実現できるまちへ】

ファザーリングジャパン緊急フォーラム

【高齢者、障がい者を孤独にしないまちへ】

メディポリス構想視察(鹿児島県指宿市)、肢体不自由児父母の会クリスマス会、手をつなぐ親の会クリスマス会、情報労連東京福祉センター視察、小平障がい者作品展、うたごえまつり(熟年いきいき会主催)

【ICTの活用で人と人をつなぐまちへ】

学ぼう！知ろう！マイナンバー公開シンポジウム(オープンデータ推進協議会主催)

【グローバル人材が育つまち、若者が活躍できるまちへ】

国際交流協会新年会①、中学生意見発表会、スポーツボランティアパネルディスカッション

① 国際交流協会新年会にて



☆外国人の皆さんの晴れ着☆

竹井ようこプロフィール



小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ 名古屋育ち

名古屋市立菊里高校卒業

南山大学外国語学部英米科卒業

1988年 4月 日本電信電話(株)入社

国際部などで業務経験を積む

1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向

Didier & Associates法律事務所(ベルギー)派遣

欧州各国での情報通信政策について調査・分析

1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等

職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす

1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)

情報通信の最前線で企画・法務等の業務に従事

2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選

家族：夫、長男(大学生)、長女(高校生) 柴犬(♀)

所属委員会等

総務常任委員会

広聴広報特別委員会

にぎわいまちづくり調査特別委員会

小平・村山・大和衛生組合議会(一部事務組合議会)

交通安全対策協議会(市長附属機関等委員)



フェイスブックは

「竹井ようこ」で検索!

竹井ようこホームページ

<http://takeiyoko.com/>

【にぎわいのあるまちづくり、環境、安心安全 その他】

マイナンバー勉強会開催②、民泊視察(鹿児島県出水市)、2000人委員会視察(熊本市)、政治教養講座(選挙管理委員会主催)

② マイナンバー勉強会を開催

1月31日(日)、所属会派「フォーラム小平」と斉藤敦都議会議員との共催で「マイナンバー制度、わかりますか?」と題し、勉強会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

これからも市民の皆様の疑問にお答えできるような勉強会の企画をまいります。



花小金井武道館市民説明会(※)、仲町公民館解体市民説明会、マイナンバー市民説明会、コミュニティタクシー視察、リサイクルきやらばん、大沼公民館まつり、新春歩け歩けのついで、消防団出初式、農産物品評会表彰式、政策・制度充実に向けた要請(連合東京)、FM西東京「こだいらMIX」出演、あすびあ主催講演会「小平の近未来」

.....等

※ 花小金井武道館について

花小金井武道館は、耐震工事のため、春には一時閉鎖、5年後には老朽化により閉鎖・機能移転する予定です。

市議会各会派は、利用者の皆様の活動場所確保に努めるように強く要望しております。



編集後記

最近ご相談いただいた案件で共通していたのが「市の説明責任を問う声」です。市民協働をめざすならば、より一層丁寧な説明が求められます。引き続き、住民の皆様の声を届ける役割を精一杯担ってきたいと思っております。